



4544

みらかホールディングス



取締役 執行役員 CFO
北村 直樹氏

「人と医療のまんなかで、」検査を通じて、人々と医療をつなぐ

会社概要

- 「臨床検査」に関わるサービスを広く提供
 - ・ 1950年設立
 - ・ 100カ国以上へ製品やサービスを提供
 - ・ 臨床検査(検体検査)は血液や尿を検査し、病気の早期発見や適切な治療・投薬を可能に
 - ・ 年間に受託する検査数は4億テストに迫る
- みらかグループの主な事業会社
 - ・ 検査サービス事業⇒エスアールエル
 - ・ 検査薬製造事業⇒富士レビオ
 - ・ 滅菌関連事業⇒日本ステリ
- セグメント別実績(2018年度実績)
 - ・ 売上1,814億円、営業利益146億円
 - ・ 事業別 ①売上 ②営業利益率
 - 検査サービス事業 ①1,111億円 ②4.7%
 - 検査薬製造事業 ①454億円 ②22.1%
 - 滅菌関連事業 ①190億円 ②5.1%
 - 新規育成事業 ①59億円、営業赤字1億円

事業内容

- 検査サービス事業
 - ・ 毎日20万以上の検体を医療機関より受託
 - ・ 経験豊富な検査技師の技能に裏打ちされた品質
 - ・ 大病院の80%以上と取引実績あり
 - ・ 染色体検査では全国約70%のシェア
 - ・ 国内で営業拠点125カ所、ラボラトリー50カ所を所有し、日本全国をカバー
 - ・ 開業医へのサービス拡充へ向けて、2018年5月に SRL_Advanced Lab.Azabuを開設
- 検査薬製造事業
 - ・ 検査機器と専用試薬(ルミパルス)をセットで供給
 - ・ 継続的に専用試薬を供給することで安定した高収益を実現
 - ・ ルミパルスで感染症、主要臓器がんのマーカー検査等が可能
- 滅菌関連事業
 - ・ 病院の運営支援サービス提供により、病院内のオペレーションの効率化に貢献
 - (医療器材滅菌サービス)
 - 手術用具を中心に院内・院外で滅菌業務を受託
 - (手術業務支援サービス)
 - 手術室の術前準備から、術間・術後清掃に至るまでの一貫した支援サービスを提供
- 今後の事業展開
 - ・ 食品・環境・化粧品検査
 - これまで臨床検査で培った高度な検査技術を活用
 - ・ 訪問看護等
 - 2018年10月1日に事業スタート大都市を中心に展開
 - ・ 地理的拡大
 - 平安保険グループとのJVを設立し、中国市場における臨床検査事業を展開

キーワード、業績と配当

- 新セントラルラボラトリー
 - ・ 東京都あきる野市に建設、2021年春に稼働開始予定
 - ・ 敷地面積は東京ドーム約2.7個分に当たる約122,000㎡
 - ・ 検査能力は最大30万ID/日(一般・特殊検査の合計)
- キーワード
 - ・ 「人と医療のまんなかで、」検査を通じて人々と医療をつなぎ、医療と皆さまの健康を支える企業
 - ・ 安定的かつ継続的に収益を生み出すビジネスモデル
 - ・ 中長期的な成長の実現に向けた積極的な投資と事業基盤の拡大、新規事業の育成
- 業績、株主還元について
 - ・ 既存事業の売上は安定的に推移
 - ・ 2017年度以降、将来成長に向けた先行投資を加速
 - ・ 連結当期利益
 - 2018年度64億円(実績)、2019年度76億円(計画)
 - ・ 2019年度の配当は18年度と同じ130円を予想